

全国障害スポーツ(知的)九州予選

本県3連覇 本大会へ

決勝 鹿児島を圧倒18-0

第17回全国障害者ス、堤(昭和7)の本塁打などで一挙17ポイント大会「愛護」なぐの本塁打など一挙17ポイント大会(10月28日)点奪った。守っては堀30日・愛護)の出場権を内(希望が丘高等特別支援)懸けたソフトボール(知)援)ら投手陣が相手打線を(的)九州フロッグ選を安打に抑え、18-0(1枠)は16日、長崎市の総合運動公園かきどま総合運動公園かきどま。り運動広場で行われ、本県が3連覇を果たしてナメント競った。

本大会出場を決めた。地元開催で予選免除だった2014年の長崎大会を含めると、6年連続の全国切符獲得となった。本県は1回戦で福岡に13-0の三回コールド勝ち。鹿児島との決勝は初回、中下(ハクスミ)



3連覇を飾った本県チーム



【決勝】鹿児島県一長死一塁、堤(昭和7)二塁、中間に2点ランニング本塁打を放つ三長崎市長総合運動公園かきどま、鹿嶋市総合運動公園



2試合で31安打31得点

○本県が2試合で計31安打得点の猛打と投手を中

心にした壁守で他を圧倒。3連続を達成した。富永監督(クイ大村(サイビス)は三、1回戦の成果でシャープな打撃ができた」と笑みが絶えなかった。

昨秋の全国大会は、1回戦で強豪の岡山に1点差で敗れた。主将の山下(ハクスミ)は「負けて悔しかったから、たくさん練習のをしてきた」。合同練習日以外にもそれぞれが自主練習を重ねた。その努力が実り、決勝の鹿児島戦は初回、3番山下の左越え3点本塁打で先制。8番堤(昭和7)も狙っていたと右中間に2点ランニング本塁打を放つなど、この回だけで13安打1点奪って勝負を決めた。

目標の日本一へ弾みをつけた。攻守に隙のない試合運びで、決勝で先発した堀内(希望が丘高等特別支援)は「1回戦で先発した江川(同)も「もどくと、引き締めたい」と、(丸田理恵)

練習実り日本一へ弾み

1回戦
長崎13-0福岡
長崎18-0鹿児島

1本県関係